



ほけんだより 冬号①

津田このみ学園

令和2年12月8日



こどもたちはクリスマスとお正月とお楽しみがいっぱいの年末年始がもうすぐです。今年最後まで元気に無事故で、新年のスタートをきれいに。新型コロナウイルスに加え、冬季は感染症が流行する時期です。こどもたちの命を守るためにも、十分な感染予防対策を園でも引き続き徹底してまいります。

* 登園に際しての確認事項 *

- ・朝、体温測定後に普段と違った症状はないかよく観察をお願いします。新型コロナウイルス発症、感染のリスクもふまえて、呼吸器症状があれば登園を見合わせ、医師に感染症ではない症状と診断された等の報告がある場合は担任への連絡をよろしくお願いします。
 - ・**37.0度以上の発熱を基準**として、咳や鼻水などの呼吸器症状が顕著であること、顔色が悪く食事摂取できない、その他、腹痛・嘔吐・下痢などの消化器症状がみられる場合は保護者様の職場へ連絡しますのですみやかに迎えをよろしくお願いします。インフルエンザなどが流行する冬季は、突然の高熱などで急変することが少なからずあります。
 - ・「**解熱後 24 時間経過し、呼吸器系、消化器系の症状が回復していること**」が登園の条件になっております。そのため**発熱日の翌日は登園自粛**をお願いします。再度発熱するおそれや、基礎疾患をお持ちの子どもや家族への感染リスクを高めること、治癒しないまま他の感染症が重複するおそれを回避することがその理由です。
- * R2年12月1日に姫路市の新型コロナウイルス感染症発生時の対応方針で示された通り、**お子様、同居の家族が濃厚接触者に特定された、PCR検査を受けることになった、PCR検査の結果を受けた場合、園までご連絡**をお願いします。また、お子様が「濃厚接触者」に特定された場合、PCR検査の結果が陰性であった場合でも、陽性者と最後に接触した翌日から**2週間の登園自粛**をお願いします。該当した場合の具体的な日程や対応などについては保健所の指示に従うこととしています。

< 感染性胃腸炎の感染予防 >

感染性胃腸炎の空気感染を防ぐための方法をマスターして、家族感染を防ぎましょう。

吐いたものの処理方法

吐いた物を新聞紙やペーパータオルなどで覆い、手袋、マスクをして消毒液Aをつくり嘔吐物にかけ、窓を開け換気をする。1分置いてからきれいにふき取り、ビニール袋を二重にして手袋も一緒に処分する。新しい手袋をし、消毒液Aを浸した新聞やペーパータオルで10分間消毒し、きれいに水拭きする。

汚れた衣類の消毒方法

消毒液Bに30分浸し、他のものとは分けて洗濯する。漂白できないものは85℃で1分以上熱湯消毒する。



○ 消毒液の作り方 ○

消毒液A（濃度 0.1%/吐いたものの処理に使用）

500 ml のペットボトル 1 本分の水に、ペットボトルのキャップ 2 杯（10ml）の塩素系漂白剤を入れる。

消毒液B（濃度 0.02%/汚れた衣服の消毒に使用）

2ℓ のペットボトル 1 本分の水に、ペットボトルのキャップ 2 杯（10 ml）の塩素系漂白剤を入れる。